Firepowerデータパスのトラブルシューティング フェーズ6:アクティブ認証

内容

<u>概要</u>

<u>前提条件</u> <u>アクティブ認証フェーズのトラブルシューティング</u> <u>リダイレクト方式の確認</u> <u>パケットキャプチャの生成</u> <u>パケットキャプチャ(PCAP)ファイル分析</u> 暗号化されたストリームの復号化 復号化されたPCAPファイルの表示 緩和手順 <u>パッシブ認証のみに切り替え</u> <u>TACに提供するデータ</u> 次のステップ

概要

この記事は、Firepowerシステムのデータパスを体系的にトラブルシューティングし、 Firepowerのコンポーネントがトラフィックに影響を与えているかどうかを判断する方法を説明す る一連の記事の一部です。Firepowerプラットフォームの<u>アーキテクチャに</u>関する情報や、その他 のデータパスのトラブルシューティングに関する記事へのリンクについては、概要記事を参照し てください。

この記事では、Firepowerのデータパスのトラブルシューティングの6番目の段階であるアクティ ブ認証機能について説明します。



前提条件

- ・この記事は、現在サポートされているすべてのFirepowerプラットフォームに関連しています
- Firepowerデバイスがルーテッドモードで動作している必要があります

アクティブ認証フェーズのトラブルシューティング

問題がIDによって引き起こされているかどうかを判断する場合は、この機能が影響を与えるトラフィックを理解することが重要です。トラフィックの中断を引き起こす可能性があるアイデンティティ自体の唯一の機能は、アクティブ認証に関連するものです。パッシブ認証では、トラフィックが予期せずドロップされることはありません。アクティブ認証の影響を受けるのは

HTTP(S)トラフィックだけであることを理解することが重要です。IDが動作していないために他 のトラフィックが影響を受ける場合、これはポリシーがユーザ/グループを使用してトラフィック を許可/ブロックするため、ID機能がユーザを特定できない場合は予期せぬ事態が発生する可能性 が高くなります。このセクションのトラブルシューティングでは、アクティブ認証のみに関連す る問題を順に説明します。

リダイレクト方式の確認

アクティブな認証機能には、HTTPサーバを実行するFirepowerデバイスが含まれます。トラフィ ックがアクティブ認証アクションを含むアイデンティティポリシールールに一致すると、 Firepowerは307(一時的なリダイレクト)パケットをセッションに送信し、クライアントをキャ プティブポータルサーバにリダイレクトします。

現在、アクティブ認証には5種類あります。2つのリダイレクトは、センサーのホスト名と、レルムに関連付けられたActive Directoryプライマリドメインで構成されるホスト名に送信され、3つのリダイレクトは、キャプティブポータルリダイレクトを実行するFirepowerデバイスのインターフェイスのIPアドレスに送信されます。

リダイレクトプロセスで何らかの問題が発生した場合、サイトが使用できないため、セッション が中断する可能性があります。そのため、リダイレクションが実行コンフィギュレーションでど のように動作しているかを理解することが重要です。次の図は、この設定の側面を理解するのに 役立ちます。

To view hostname SHELL		Redirect hostname vs IP			
> show network ========[System Information]======== Hostname : ciscoasa	System > I	ntegration [Realms] > Edit Realm			
To change hostname	my-realm Enter Description				
> configure network hostname <new-hostname></new-hostname>	AD Primary Doma	in • my-ad.domain ex: domain.com			
	Active Authentication Type	Redirection Type			
	HTTP Negotiate	Hostname. <ad domain="" primary=""></ad>			
	Kerberos	Hostname. <ad domain="" primary=""></ad>			
	HTTP Basic	IP Address			
	NTLM	IP Address			
	HTTP Response Page	IP Address			

アクティブ認証がホスト名にリダイレクトしている場合、クライアントはciscoasa.myad.domain:<port_used_for_captive_portal>にリダイレクトされます

パケットキャプチャの生成

パケットキャプチャの収集は、アクティブな認証の問題のトラブルシューティングで最も重要な 部分です。パケットキャプチャは、次の2つのインターフェイスで行われます。

- 1. アイデンティティ/認証の実行時にトラフィックが入力されるFirepowerデバイスのインター フェイス 次の例では、内部インターフェイスが使用されます
- 2. FirepowerがHTTPSサーバへのリダイレクションに使用する内部トンネルインターフェイス - tun1 このインターフェイスは、トラフィックをキャプティブポータルにリダイレクトする ために使用されますトラフィックのIPアドレスは、出力時に元のアドレスに戻されます

> capture ins_ntlm interface inside buffer 1000000 match tcp host 192.168.62.31 any > expert

tcpdump -i tun1 -s 1518 -w /var/common/ntlm_tun.pcap

[Test authentication and then stop captures]

^C > capture ins_ntlm stop

> copy /noconfirm /pcap capture:ins_ntlm ins_ntlm.pcap 748 packets copied in 0.40 secs

[File will be copied here: /mnt/disk0/ins_ntlm.pcap]

2つのキャプチャが開始され、対象トラフィックがFirepowerデバイスを介して実行され、キャプ チャが停止されます。

内部インターフェイスのパケットキャプチャファイル「ins ntlm」が/mnt/disk0ディレクトリにコ ピーされることに注目します。次に、デバイスからダウンロードできるように/var/commonディ レクトリにコピーできます(すべてのFTDプラットフォームで/ngfw/var/common)。

> expert

copy /mnt/disk0/<pcap_file> /var/common/

パケットキャプチャファイルは、この記事の指示に従って、>プロンプトからFirepowerデバイス からコピーできます。

または、Firepowerバージョン6.2.0以降のFirepower Management Center(FMC)にはオプションは ありません。FMCでこのユーティリティにアクセスするには、[Devices] > [Device

Managementlに移動します。次に、



アイコンをクリックし、その後に[Advanced] Troubleshooting] > [File Download]をクリックします。その後、該当するファイルの名前を入力し

、[Download]をクリックします。

Overview Analysis Policies Devices Objects A	MP Intelligence									Deploy 08 Sy	stem Help v	admin 🔻
				Configuration	Users	Domains	Integration	Updates	Licenses •	Health > Monitor	Monitoring •	Tools •
Advanced Troubleshooting												
File Download Threat Defense CLI Packet Tracer	Capture w/Trace											
		File										
			Download Bas	ck								

パケットキャプチャ(PCAP)ファイル分析

WiresharkのPCAP分析を実行すると、アクティブな認証操作で問題を特定できます。非標準ポー トはキャプティブポータル設定(デフォルトでは885)で使用されるため、SSLなどのトラフィック をデコードするようにWiresharkを設定する必要があります。

If wireshark doesn't identify protocol as SSL, decode as...



dest port		Protocol	Lengti	Info				Protocol	Leng	tl Info
	885	TCP	74	47336→885	[SYN]	Seq=1445654081 Win=29200 Len=0 MS	£	TCP	7	4 47336→885 [SYN] Seq=1445654081 Win=29200 Len=0 MS:
4	7336	TCP	74	885→47336	[SYN,	ACK] Seq=1526709788 Ack=144565408	1	ТСР	7	4 885→47336 [SYN, ACK] Seq=1526709788 Ack=144565408.
	885	TCP	66	47336→885	[ACK]	Seq=1445654082 Ack=1526709789 Win		TCP	6	6 47336→885 [ACK] Seq=1445654082 Ack=1526709789 Win=
	885	TCP	583	47336→885	[PSH,	ACK] Seq=1445654082 Ack=152670978		TLSv1	58	3 Client Hello
4	7336	TCP	66	885→47336	[ACK]	Seq=1526709789 Ack=1445654599 Win		TCP	6	6 885→47336 [ACK] Seq=1526709789 Ack=1445654599 Win=
4	7336	TCP	227	885→47336	[PSH,	ACK] Seq=1526709789 Ack=144565459		TLSv1	22	7 Server Hello, Change Cipher Spec, Encrypted Hands
	885	TCP	66	47336→885	[ACK]	Seq=1445654599 Ack=1526709950 Win		TCP	6	6 47336→885 [ACK] Seq=1445654599 Ack=1526709950 Win=
	885	TCP	141	47336→885	[PSH,	ACK] Seq=1445654599 Ack=152670995		TLSv1	14	1 Change Cipher Spec, Encrypted Handshake Message
	885	TCP	519	47336→885	[PSH,	ACK] Seq=1445654674 Ack=152670995		TLSv1	51	9 Application Data
4	7336	TCP	66	885→47336	[ACK]	Seq=1526709950 Ack=1445655127 Win		TCP	6	6 885→47336 [ACK] Seq=1526709950 Ack=1445655127 Win=
4	7336	TCP	828	885→47336	[PSH,	ACK] Seq=1526709950 Ack=144565512		TLSv1	82	8 Application Data, Application Data
	885	TCP	519	47336→885	[PSH,	ACK] Seq=1445655127 Ack=152671071		TLSv1	51	9 Application Data
4	7336	TCP	828	885→47336	[PSH,	ACK] Seq=1526710712 Ack=144565558	6	TLSv1	82	8 Application Data, Application Data
	885	TCP	66	47336→885	[ACK]	Seq=1445655580 Ack=1526711474 Win		TCP	6	6 47336→885 [ACK] Seq=1445655580 Ack=1526711474 Win=
	885	TCP	503	47336→885	[PSH,	ACK] Seq=1445655580 Ack=152671147	4	TLSv1	50	3 Application Data
4	7336	TCP	828	885→47336	[PSH,	ACK] Seq=1526711474 Ack=144565601	1	TLSv1	82	8 Application Data, Application Data
	885	TCP	66	47336→885	[ACK]	Seq=1445656017 Ack=1526712236 Win		TCP	6	6 47336→885 [ACK] Seq=1445656017 Ack=1526712236 Win=

内部インターフェイスキャプチャとトンネルインターフェイスキャプチャを比較する必要があり ます。両方のPCAPファイルで問題のセッションを識別する最善の方法は、IPアドレスが異なる ため、一意の送信元ポートを見つけることです。



上記の例では、サーバのhelloパケットが内部インターフェイスキャプチャから欠落していること に注意してください。これは、クライアントに戻されなかったことを意味します。パケットが Snortによってドロップされた可能性があります。また、パケットまたは設定の誤りが原因である 可能性もあります(不具合または設定の誤り)。

注:Snortは、HTTPの不正利用を防ぐために、自身のキャプティブポータルトラフィックを 検査します。

暗号化されたストリームの復号化

SSLスタックに問題がない場合は、PCAPファイルのデータを復号化してHTTPストリームを表示 することが有益な場合があります。これを実現する方法は2つあります。

Windowsで環境変数を設定する(より安全 – 推奨) この方法では、プリマスターシークレットファイルを作成します。これは、次のコマンドを使用して実行できます(Windowsのコマンド端末から実行)。setx SSLKEYIOGFILE "%HOMEPATH%\Desktop\premaster.txt"その後、Firefoxでプライベートセッションを開き、SSLを使用して対象のサイトを参照できま

す。対称キーは、上記のステップ1でコマンドで指定したファイルに記録されます。 Wiresharkは、ファイルを使用して対称キーを使用して復号化できます(次の図を参照)。

2. RSA秘密キーを使用する(テスト証明書とユーザを使用しない限り、セキュリティが低い) 使用する秘密キーは、キャプティブポータル証明書に使用される秘密キーですこれは、非 RSA(楕円曲線など)やephemeral(Diffie-Hellmanなど)では動作しません

注意:方法2を使用する場合は、Cisco Technical Assistance Center(TAC)に秘密キーを提供 しないでください。ただし、一時的なテスト証明書とキーを使用できます。テストユーザは 、テストにも使用する必要があります。

SSL Decrypt ? X P address Port Protocol Key File Password 0.0.0.0 885 ssl Z:/Documents/auth.key	Secure Sockets Layer	Preferences > Protocols > SSL
< + - b C: Users isroetzi AccOsmina iWreshark issi keus OK Cancel Hain	SSL debug file	Browse
	Reassemble SSL records spanning multiple	TCP segments
	Reassemble SSL Application Data spanning	multiple SSL records
	Message Authentication Code (MAC), igno	re "mac failed"
	Pre-Shared-Key	
	(Pre)-Master-Secret log filename	1
	C:\Users\myuser\Desktop\premaster.txt	Browse

復号化されたPCAPファイルの表示

次の例では、PCAPファイルが復号化されています。NTLMがアクティブ認証方式として使用され ていることを示します。



NTLM認証が行われた後、クライアントは元のセッションにリダイレクトされ、意図した宛先

緩和手順

パッシブ認証のみに切り替え

アイデンティティポリシーでアクティブ認証を使用すると、リダイレクトプロセスで何らかの問題が発生した場合に、許可(HTTP(s)トラフィックのみ)をドロップできます。迅速な緩和策は、アクティブ認証のアクションを使用してアイデンティティポリシー内のルールを無効にする**ことで** す。

また、[Passive Authentication]がアクションとして設定されているルールで、[Use active authentication if passive authentication cannot identify user]オプションがオンになっていないことを確認します。



TACに提供するデータ

Data

手順

Firepower Management
Center(FMC)からのトラブルシ
ューティングファイル
トラフィックを検査するhttps://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/security/sour
cefire-defense-center/117663-technote-SourceFire-
00.html
https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/security/sour
cefire-defense-center/117663-technote-SourceFire-
00.html
https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/security/sour
cefire-defense-center/117663-technote-SourceFire-
00.html
putport/docs/security/sour
cefire-defense-center/117663-technote-SourceFire-
00.html
putport/docs/security/sour
cefire-defense-center/117663-technote-SourceFire-
00.htmlフルセッションパケットキャプ
チャ手順については、この記事を参照してください

次のステップ

アクティブ認証コンポーネントが問題の原因ではないと判断された場合、次のステップは、侵入 ポリシー機能のトラブルシューティングです。

ここをク<u>リック</u>して、次の記事に進んでください。